

2017年4月25日

関西の世界一企業による海外M&A- 技術優位は相乗効果を創出するか
オムロン基金研究プロジェクト2016年度最終報告書
研究代表 ビジネス研究科 松本 茂

1) 活動実績

海外M&Aによる相乗効果創出のメカニズムについて、世界一事業を有する関西企業、堀場製作所、ニチリン、古野電気各社の協力を得て研究を行った。

主な活動

- 2016年4月20日 堀場製作所訪問、買収及び買収後の経営についてヒアリング
4月27日 古野電気訪問 (同上)
5月19日 ニチリン訪問 (同上)
5月26日 古野電気訪問 (同上)
6月3日 堀場製作所 びわこ工場 E-Lab 視察
7月29日 オムロン訪問
9月13日—16日 欧州出張 買収対象企業訪問
ニチリン HNBH (旧ハッチンソンブレーキホース事業部門、スペイン バルセロナ)
フルノフィンランド (旧ナビントラ社 フィンランド ヘルシンキ)
10月21日 全体報告会—ラウンドテーブル@同志社大学寒梅館
堀場製作所、ニチリン、古野電気、DBS
10月28日 学会報告 EAMSA (Europe Asia Management Study Associations)
@蘇州 中国
12月8日 講演 経済同友会 産業懇談会 @東京工業倶楽部

2017年1月—3月

論文「海外M&Aによる相乗効果創出のメカニズム」執筆。「組織科学」に投稿。現在、査読プロセス中

2017年4月 学術振興会、科学研究費助成事業として採択 (2017年4月—2020年3月)

6月14日 組織学会研究発表大会にて成果発表予定 @滋賀大学

2) プロジェクトから得られた成果

論文「海外 M&A による相乗効果創出のメカニズム」参照

3) 成果物 (出版物、研究発表、講演など)

論文「海外M&Aによる相乗効果創出のメカニズム」参照

研究報告

2016年10月28日

EAMSA (Europe Asia Management Study Associations) @蘇州 中国

2017年6月14日

組織学会研究発表大会にて成果発表 @滋賀大学

講演

2016年12月8日経済同友会 産業懇談会 @東京工業倶楽部

4) 申請書に記述された内容と成果の比較(達成度についての自己評価, これまでの成果を踏まえた今後の研究計画)

堀場製作所、ニチリン、古野電気各社の協力を得て、申請書記載の内容に沿って研究を実行し、期間内に海外 M&A による相乗効果創出のメカニズムについて、論文執筆を完了することができた。

本研究が、本年、学術振興会の科学研究費助成事業の対象として採択されたことから、今後 3 年をかけ、研究対象の企業数を増やし、更に精度の高い研究成果を得られるよう努めたい。

5) 予算案と予算執行実績についての説明（予算案に沿って研究を進め、予算を執行したかどうかを示す。予算案との乖離があった場合には、その理由を説明する）

予算案に沿って研究を進めて予算を執行した。